

日本イギリス哲学会関東部会 第101回研究例会

日時 2018年7月7日(土) 14:00~17:15

場所 東洋大学白山キャンパス 6号館1階第3会議室

プログラム

14:00~15:30

固有権・貨幣・慣習—ジョン・ロックの社会思想

内坂 翼 (国際基督教大学)

15:45~17:15

人為的徳・自然的徳の再考—現代権利論の観点から—

久保田顕二 (小樽商科大学)

終了後、簡単な懇親会を予定しております。こちらにもどうぞお気軽にご参加ください。
また、今年度12月の部会報告をご希望の方は、以下の担当者あるいは事務局までお申し出
ください。

関東部会担当 太子堂正称 (taishido[at]toyo.jp)

矢嶋直規 (yajima[at]jcu.ac.jp)

*[at]を@に直して下さい

【報告要旨】

固有権・貨幣・慣習—ジョン・ロックの社会思想

内坂 翼 (国際基督教大学)

本報告は、ジョン・ロック (John Locke: 1632-1704) の思想に関するこれまでの解釈を批判的に考察することで、ロックの社会思想に新たな視角を付与することを試みるものである。ここで検討の対象とするのは、(a) ロックは所有権の基礎が労働に由来するとみなし、労働に基づく所有論を唱えた、(b) 貨幣の誕生とその流通は、人類に獲得欲の解放という肯定的な契機をもたらすとロックは捉えていた、(c) 人民の権利を保全する手段として、ロックは法と処罰にもとづく政治権力を主に想定していた、という三つの解釈である。

(a) に関しては、これまで「所有」という訳語があてられることが多かった「プロパティ property」を「固有権」と訳した加藤節の解釈をもとに、ロックの所有論をキケロのそれと連関づけながら再検討する。(b) については、貨幣がもたらした肯定的な側面を強調するシュトラウスらのロック解釈に対し、アリストテレスの貨幣論に着想を得ていたロックが貨幣社会を批判的に捉えていたとする解釈を示す。(c) に関しては、「法律や刑罰よりも慣習や流行の方が、公共社会にとって善いものをより多くもたらす」(「アトランティス」) というロック自身の叙述を導きの糸として、ロックが怠惰、貧窮、無知という悪しき慣習をどのように改善するべきだと考えていたかについて論じる。

これらの議論をもとに、発表者は以下の三つのテーゼを主張する。(A) ロックの所有権の基礎には固有権 (a property) が据えられるべきであり、「固有権 + 労働 ⇒ 所有権」という三項関係から所有論を理解すべきである。(B) ロックは貨幣社会における貧困や道徳の頹廃、過度の享楽に対して強い問題意識を持っていた。(C) ロックは政治社会における慣習の問題に関心を持ち、知識の普及や労働の分配、社会の繁栄や教育による慣習の改善を目指していた。

人為的徳・自然的徳の再考——現代権利論の観点から——

久保田 顕二（小樽商科大学）

ヒュームが、個人の権利（所有権）保護を主眼とする「正義」の徳を、「仁愛」のような「自然的徳」と対照させ、これを、後者の徳の欠陥を補填するものとして導入している、ということはよく知られる。「人為と自然」という二分法は彼の道德論を貫徹しており、彼の道德論の体系的な理解にとっては、この二分法を適正に理解することが欠かせない。しかしこの二分法は、彼への解釈上の関心を離れ、現代においてもなお大きな有効性と説得力をもっているように思われる。本発表では、主に現代の権利論の諸成果を参照しながら幾多の道德的・法的諸事象に眼を向けてみることにしたい。そしてそのことを通して、この二分法に新たな光を照射し、単なるヒューム解釈に尽きることのない、その今日的な意義を探ることを試みたい。

より具体的な内容としては、特に次のような事項を取り上げる予定である。

(1) 「法的権利」概念についてのホーフエルド(Wesley N. Hohfeld)による分析、(2) 権利の本性や機能について提出される「利益説(interest theory)」と「選択説(choice theory)」との見解上の対立、(3) 「利益説」の側にくみして行われる、功利主義者による権利分析での「利益」の概念と、功利主義者が一般に唱道するところの、「快樂」や「欲求充足」といった「利益」の内実との異同、(4) 「権利」概念や、権利を基底とする学説に対してしばしば向けられる批判の主なもの（例えば、「権利」の主張は本性上、利己的なものであるといった批判）。

これらの諸論点を踏まえた上で、議論全体を基本的には次のような方向へと収束させていきたいと考えている。すなわち、人為・自然の区分は、道德現象の全体を捉えるのにやはり非常に有効な概念枠であるということ、ならびに、ヒューム自身の主張とはやや異なり、両者の関係は、これを一方による他方の補填という形で捉えるよりは、むしろ相補的なものと捉えるほうが、より現実

【会場案内】東洋大学白山キャンパス



- ・都営地下鉄三田線白山駅
「正門・南門」A3 出口より徒歩 5 分
「西門」A1 出口より徒歩 5 分
- ・東京メトロ南北線本駒込駅
「正門・南門」1 番出口より徒歩 5 分

*会場は6号館1階です。都営三田線白山駅から A1 出口を出て西門からキャンパスに入られるとスムーズです。

A3 出口から出られた場合は、白山神社近くの南門からお入りいただき、2号館（一番高い建物です）を超えたところに6号館行きのエスカレーターがございますので、そちらをご利用ください。

正門から入られた場合は、階段を上って真っ直ぐ進んでいただくと、6号館行きのエスカレーターがございます。